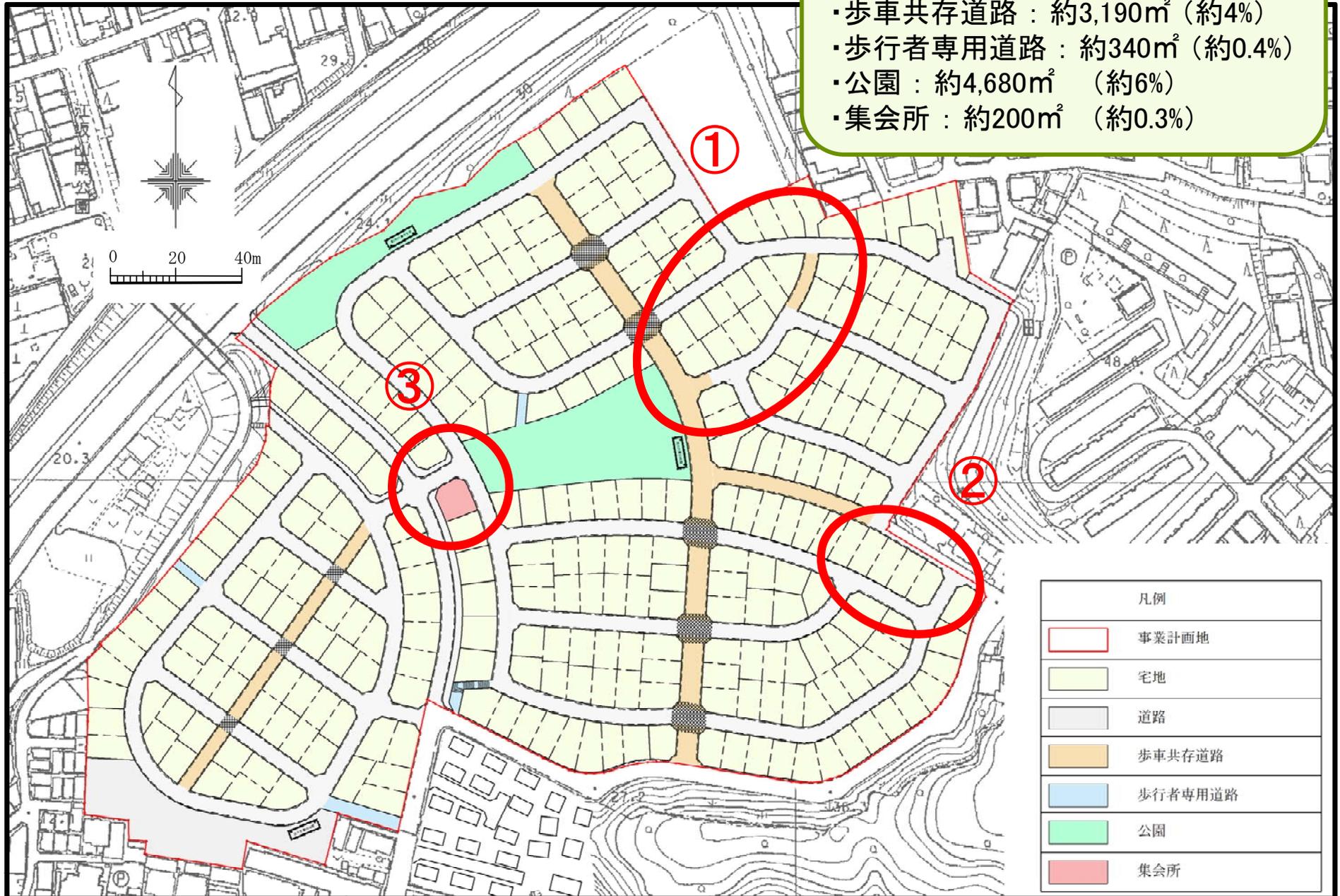


(仮称)吹田円山町開発事業

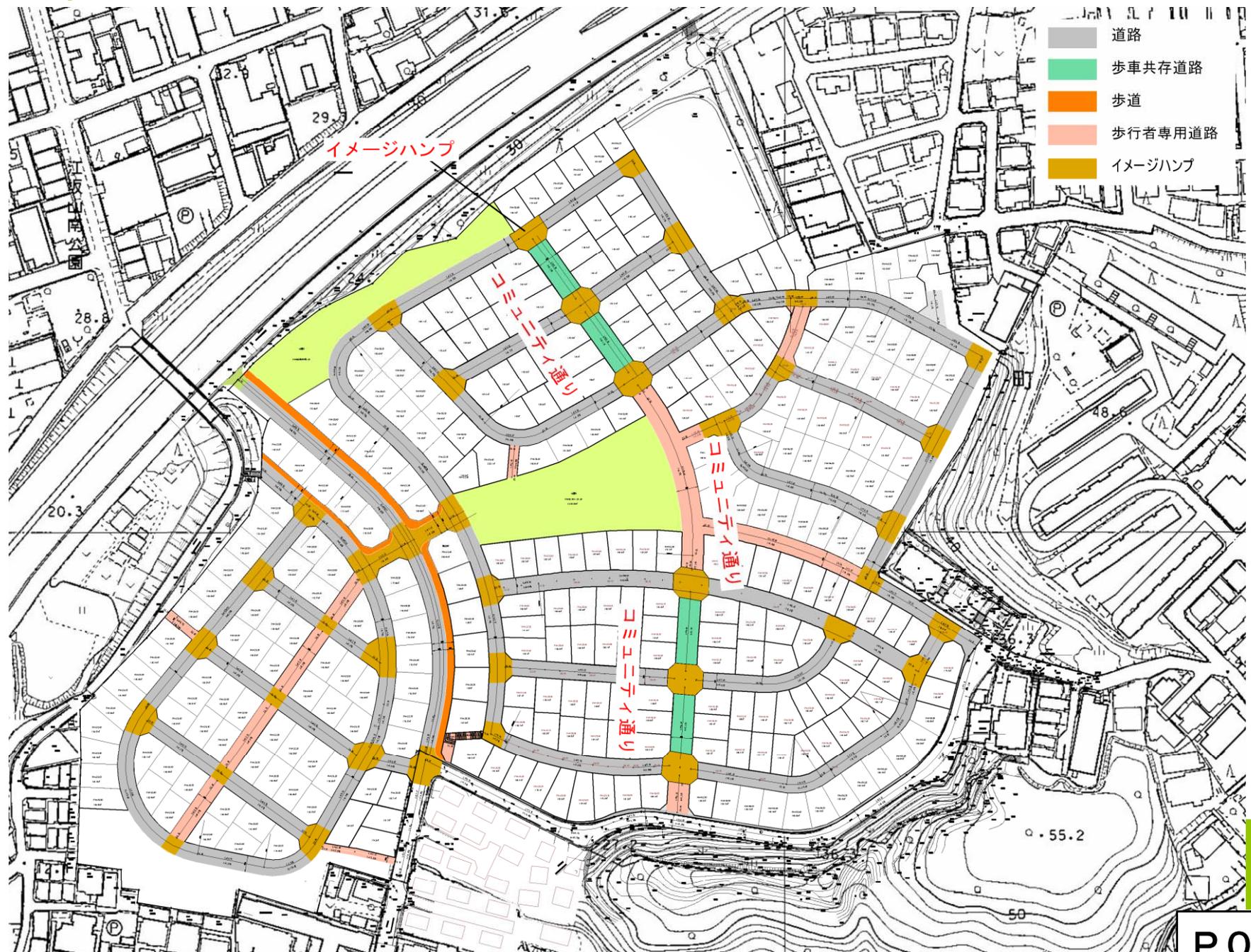
事業計画の概要 (補足説明資料)

■ 土地利用計画

- 宅地：約47,960㎡（約62%）
- 道路：約21,360㎡（約28%）
- 歩車共存道路：約3,190㎡（約4%）
- 歩行者専用道路：約340㎡（約0.4%）
- 公園：約4,680㎡（約6%）
- 集会所：約200㎡（約0.3%）



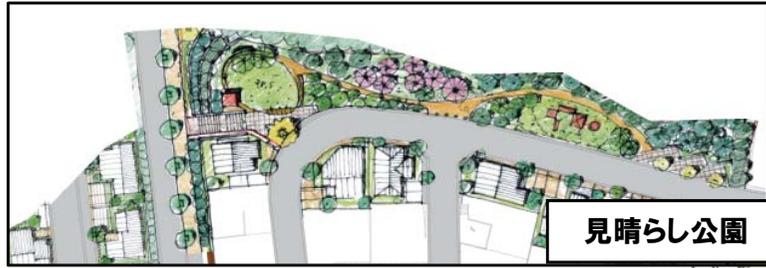
■ 道路計画



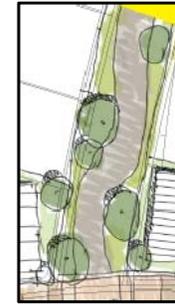
■ 舗装計画



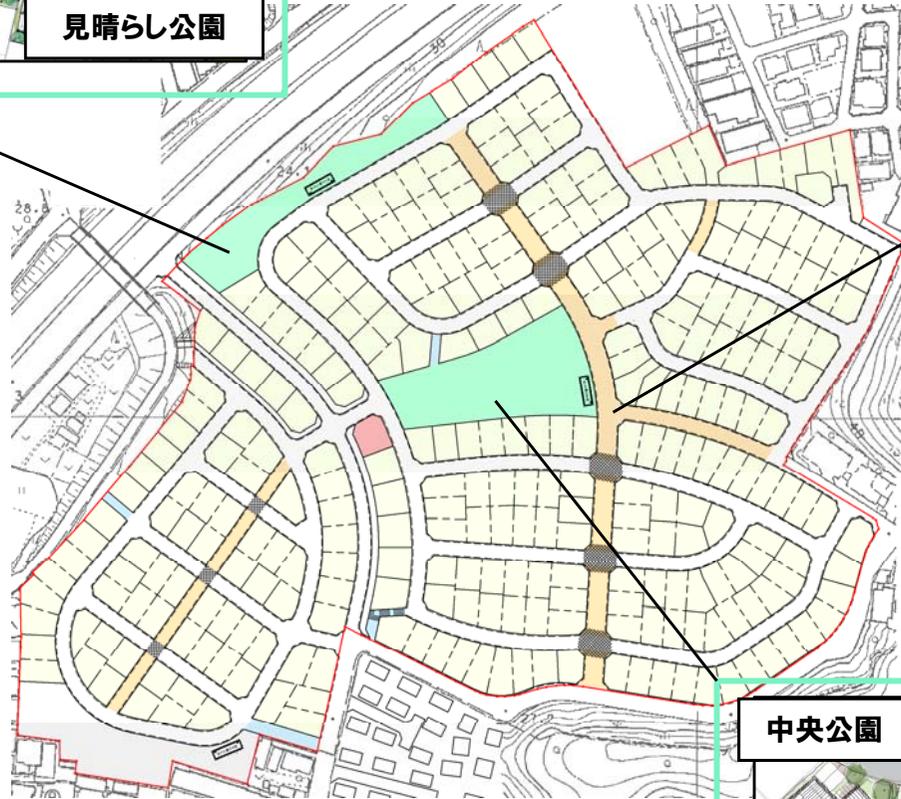
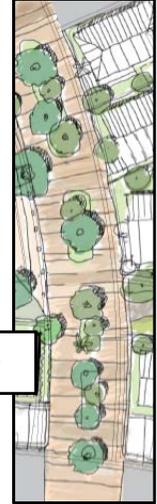
■ 緑化イメージ



見晴らし公園



歩車共存道路



中央公園



■緑化イメージ

①中央公園



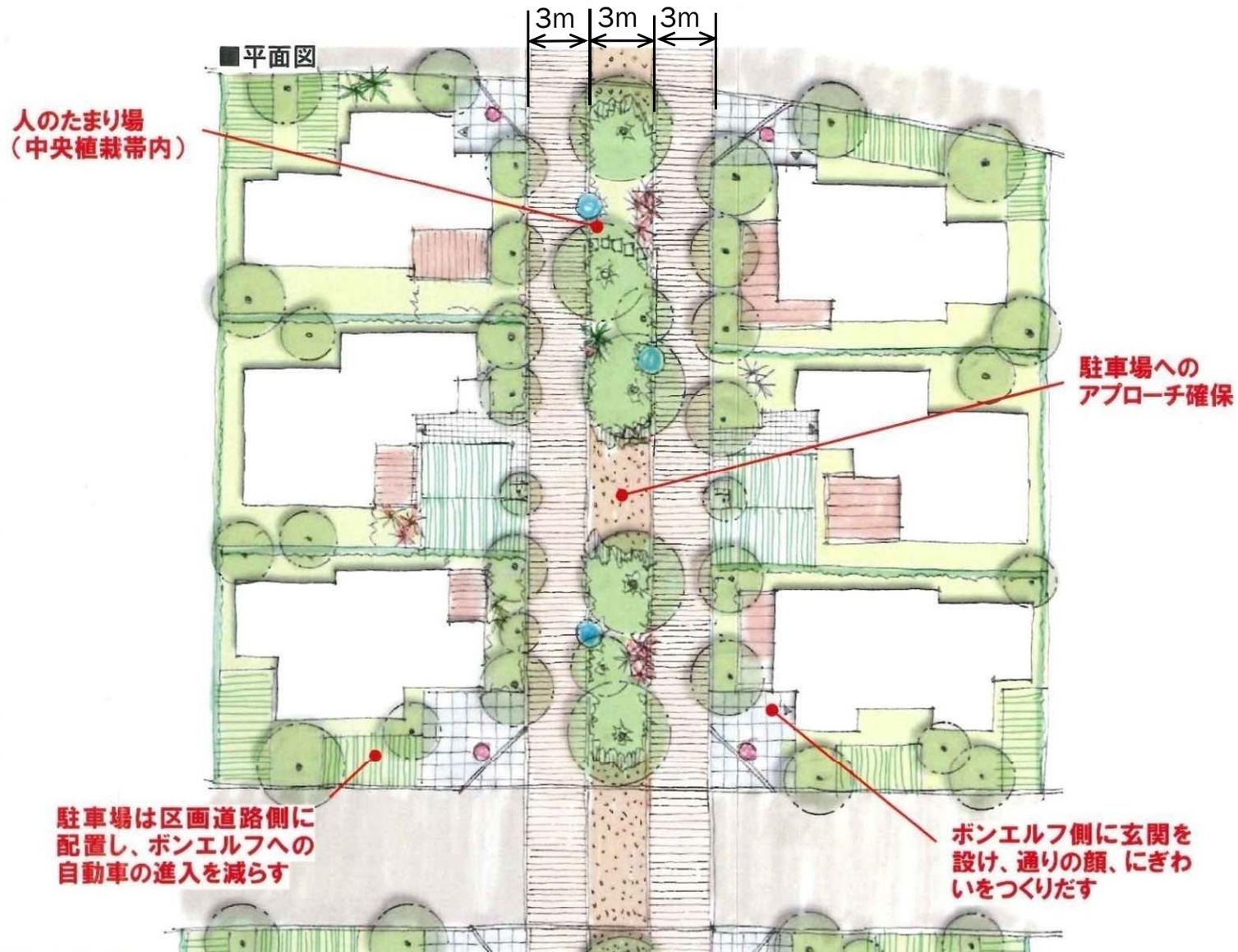
■緑化イメージ

②見晴らし公園



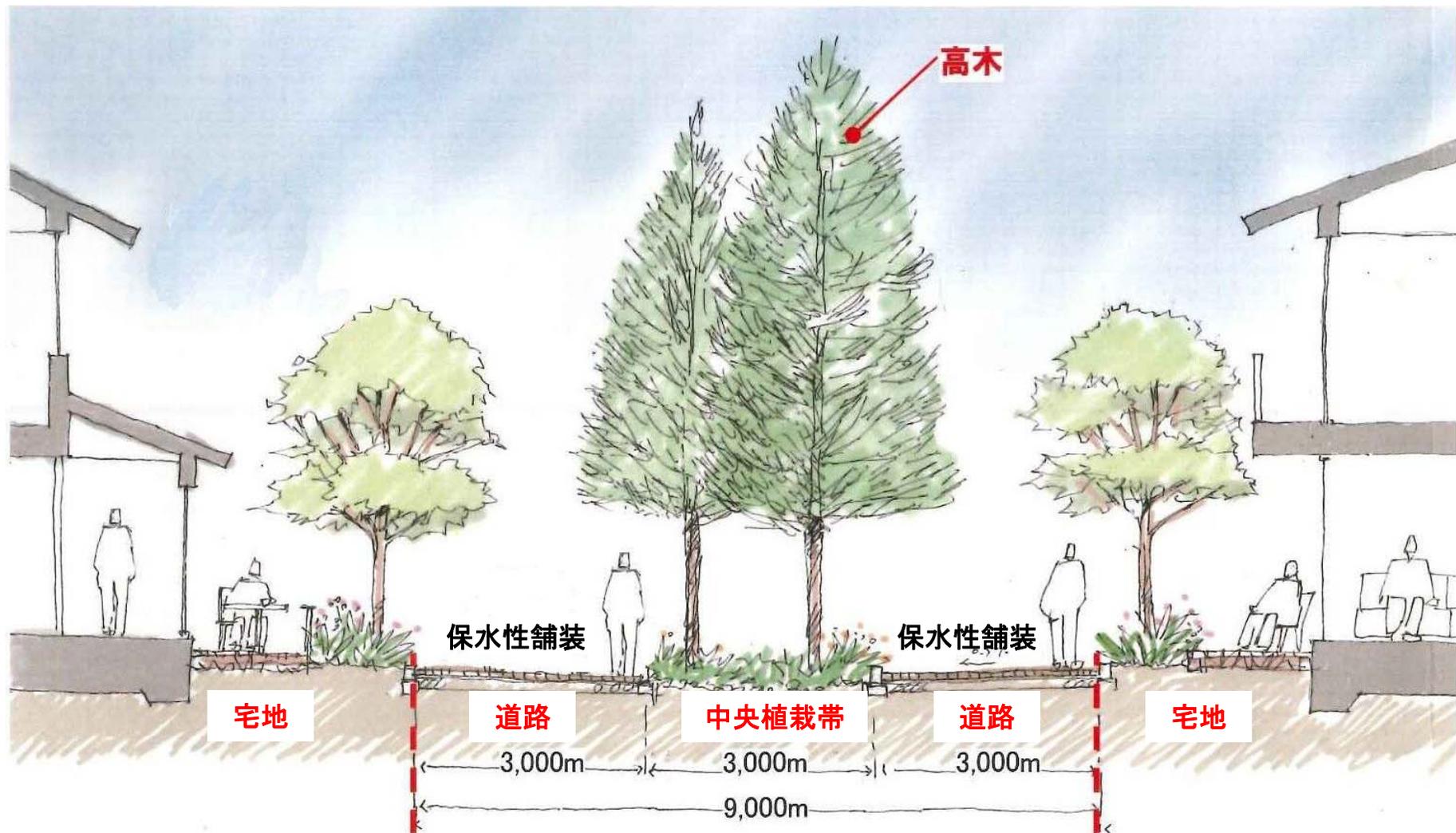
■緑化イメージ

③コミュニティ通り 平面図



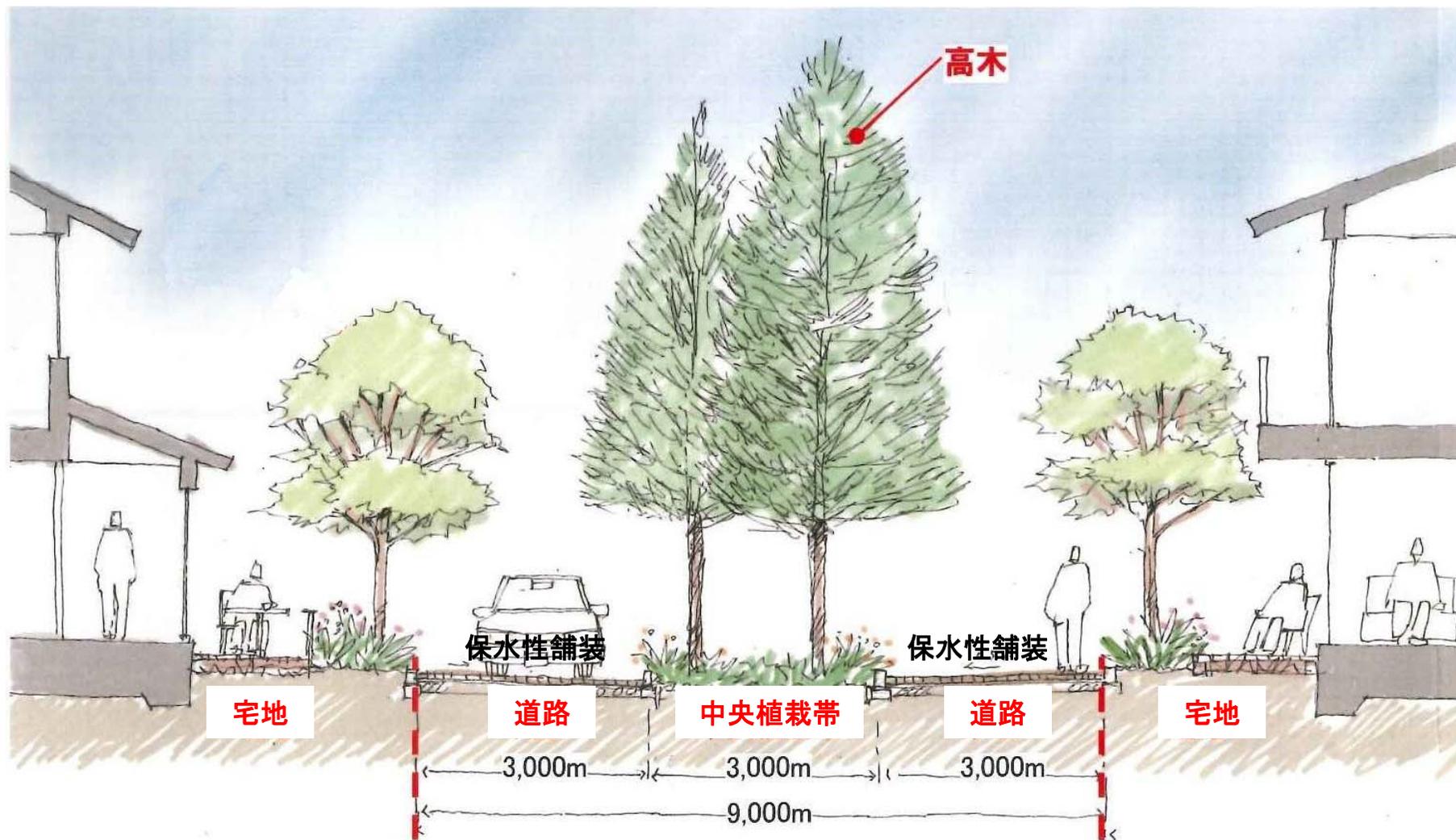
■緑化イメージ

③コミュニティ通り 歩行者専用部分断面図



■ 緑化イメージ

③ コミュニティ通り 歩車共存部分断面図



■ 建築計画



配置図



立面図

(住宅仕様はP. 12.1-16に記載)

■ 販売スキーム

- ・ 建売および建築条件付宅地(予定)

■ 景観イメージ 全景

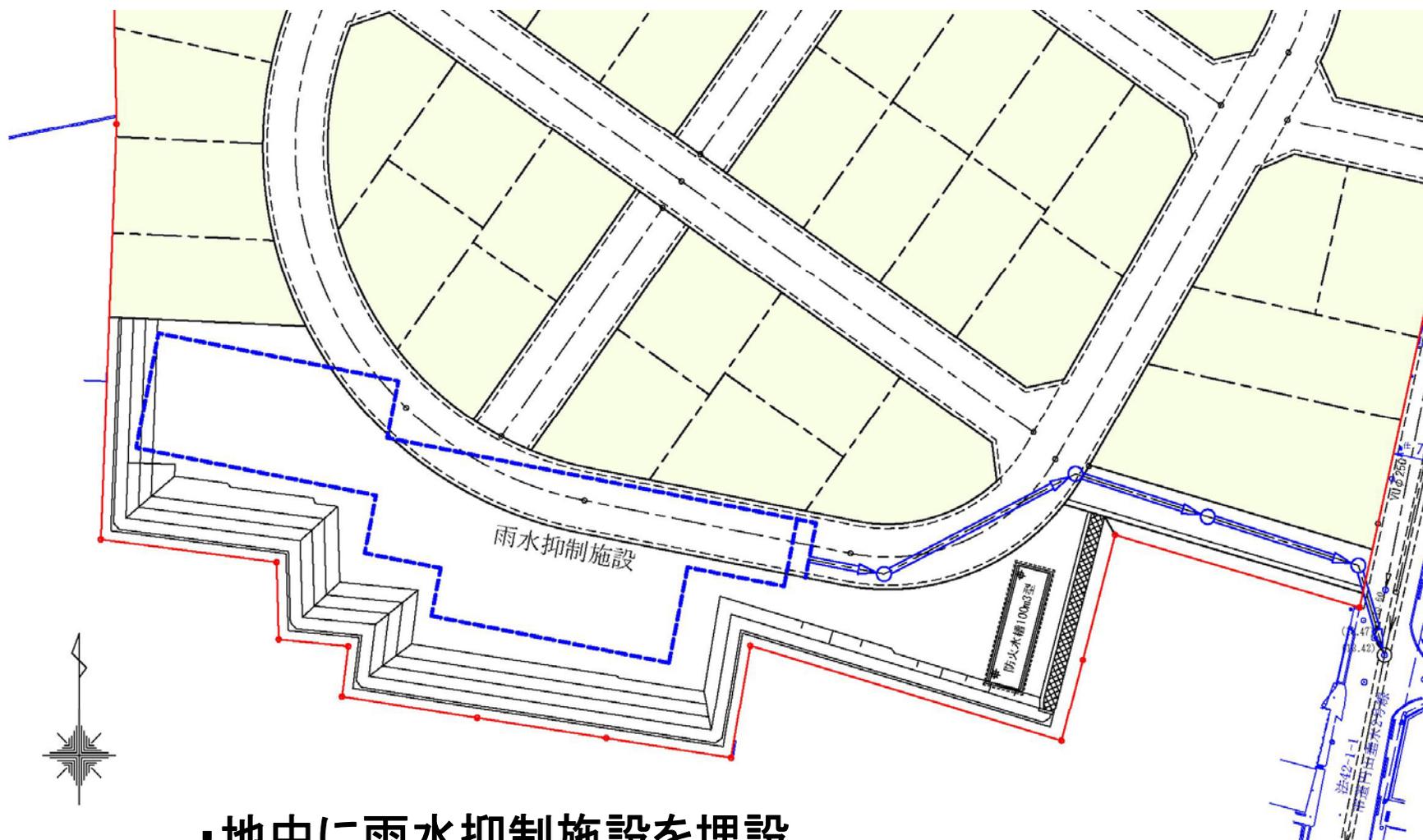


■ 景観イメージ コミュニティ通り

■ アイレベルのイメージ図



■ 南西部敷地の協議および計画状況



- ・地中に雨水抑制施設を埋設
- ・公共用地として管理しやすい、ひな壇形状の計画
- ・管理者と協議の上、緑化等の環境配慮を検討

■ 良好な環境形成を進める上での

公共施設の計画と協議時の課題について

吹田市開発事業の手續等に関する条例第19条1項
都市計画法第32条

課題①公園の広場に芝生を張ること（一般的には真砂土）

課題②コミュニティ通りに中央植栽帯を設けること

（一般的には道路脇での植込み程度）

課題③コミュニティ通りは、歩行者専用部分と歩車共存部分
で構成されますが、統一した環境デザインにすること

⇒ 具体的課題は

歩車共存部分の中央植栽帯と保水性ブロック舗装

（一般的には道路脇での画一的な街路樹とアスファルト舗装）